

## 平成 30 年度 事例紹介

小田原市建築職インターンシップは、大学生・大学院生の皆さんに、小田原市での就業体験の場を提供し、就業体験を通じて、市政に対する理解を深めていただくことを目的としています。

### 平成 30 年度におこなったインターンシップの事例紹介

**平成 30 年度は、8 月と 9 月に、合計 5 名の大学 3 年生に参加していただきました。**

インターンシップのカリキュラムは 3 日間、または 5 日間を選択してもらっています。

5 日間の事例で紹介していきたいと思います。

初日は、参加者全員で自己紹介と、係内のミーティングに参加してもらいました。その後、市役所内に配属されている建築職に、それぞれの職場での業務内容の説明を受けました。説明してくれたのは、公共施設マネジメント課・まちづくり交通課・建築指導課・文化政策課・学校安全課・管財課の職員です。それぞれの課で 30 分ほど説明を受けましたが、難解な専門用語も混じるため、その都度、理解しやすいように事例を交え、概ね、理解していただけたと思います。各課からの説明を受けた後に、事前課題として出していた、市内物件のプロポーザルに関する意見交換会をおこないました。初日で既に、おなか一杯というところでしょうか？



2 日目は、翌年度に設計する予定の物件に関して、**関連法規について整理**を行い、**基本設計立案**までの流れを把握するシミュレーションをおこないました。午後からは、**現場見学**です。お盆休みの時期でしたが、工期に間に合わせるために作業をおこなっていた現場に行きました。初めての**現場監理体験**で、少し驚いていたようですが、何事も経験です。戻ってきてから感想を聞くと、「とても楽しかった！」とのことでした。

3 日目、**応急仮設住宅計画策定**をおこないました。今回のインターンシップに参加してくれている生徒さんは、ボランティアで被災地に行った経験を持っている方が多く、とても活発な意見交換をすることができました。計画敷地をプロッターで印刷し、仮設住宅や必要なインフラを整備し、その他の施設も縮尺を合わせて配置し、計画を立案してもらいました。このような準備も、我々、**建築職の役割**なのです。



4日目は、少し実務も兼ねた内容です。小田原市の建築課では、**市営住宅の管理**もおこなっています。公営住宅法の概要や、市営住宅の現状と課題、近隣市町村での移住促進住宅や公社でおこなっている団地のリニューアル事例などの講義を受けた後、実際の住宅を見学してもらいました。築40年を経過した団地や、比較的新しい団地、次の入居希望者を受け入れるための修繕前と修繕後の部屋の比較をしてもらい、再度、課題を抽出し、最終日の**市営住宅改修プランの提案**に備えます。

**最終日**は、前日に見学した市営住宅を改修するプランを話し合いました。自宅で考えてきた改修計画を持ち寄り、共同で改修計画を創り上げていきます。**住む人の視点を取り入れた改修計画**ができあがり、建築課の職員に向けて発表してもらいました。とてもよく考えられていて、今後の市営住宅のストックを活用する上で、参考にすることができました。長いようで短かった平成30年度のインターンシップ研修を、無事に終えることができました。参加された学生の皆さん、お疲れさまでした。**ありがとうございました！**

小田原市役所建築課では、令和元年度もインターンシップの受け入れをおこないます。  
公務員の建築職に興味を持っている方は、是非、小田原市の建築職インターンシップに申し込んでみては？

インターンシップ受け入れ・業務内容問合せ先

小田原市建設部建築課 〒250-8555 小田原市荻窪 300 番地 電話 0465(33)1559

